

研究名

小児科病棟での服薬指導の状況

1. 研究の対象

2020年10月から2021年4月に気管支喘息、喘息性気管支炎で当院小児科病棟に入院した患者のうち2回以上の入院患者2名

2. 研究目的・方法

気管支喘息は発作性に起きる気道狭窄によって喘鳴や呼気延長、呼吸困難を繰り返す疾患でありその治療には環境整備とともに薬物治療の長期管理が必要になる。吸入ステロイド薬は喘息の長期管理薬の一つであるが小児においては患者本人が手技の獲得や薬剤の必要性について理解することが難しいことから、その保護者に対して薬剤師が介入する必要がある。済生会横浜市南部病院（以下、当院）においては気管支喘息と診断された患者、その保護者に対して入院中に喘息指導を行っている。COVID-19流行に伴い面会が制限されている中での介入方法検討のため調査を行い検討する。調査項目は患者背景と使用薬剤とし、電子カルテを用いて後方視的に調を行い検討に用いた。

3. 研究に用いる情報の種類

電子カルテ情報（後ろ向き研究）

4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された個人情報個人が徳的できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究医療機関：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 加藤一郎

6. お問い合わせ

本研究にご質問、または臨床研究の参加を希望されない場合は下記連絡先までお問い合わせください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 前田美紀